

学校自己評価表

学校法人セムイ学園 東海歯科医療専門学校

評価対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

目次

| | | | |
|-----|-------------------|------|-----------------|
| 基準1 | 教育理念・目的・育成人材像・・・1 | 基準7 | 学生の募集と受け入れ・・・7 |
| 基準2 | 学校運営・・・・・・・・・・2 | 基準8 | 財務・・・・・・・・・・8 |
| 基準3 | 教育活動・・・・・・・・・・3 | 基準9 | 法令等の遵守・・・・・・・・9 |
| 基準4 | 学修成果・・・・・・・・・・4 | 基準10 | 社会貢献・地域貢献・・・・10 |
| 基準5 | 学生支援・・・・・・・・・・5 | | |
| 基準6 | 教育環境・・・・・・・・・・6 | | |

基準1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目及び現状認識・評価等

| 番号 | 評価項目 | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等 |
|------------------------------------|---|----|---|
| 1-1 | 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか | 4 | 理念・目的・育成人材像については、スチューデントマニュアルに明記している。 |
| 1-2 | 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか | 3 | 教育課程編成委員会における提言を参考にし、教育方法や評価方法を再検討し、より企業と連携して実践的な歯科技工士教育の充実を図る。 |
| 1-3 | 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか | 3 | 目的については、現場の変化に対応し適宜見直しが必要である。時間制から単位制に移行し、新しいカリキュラムを編成しているが、今後の社会のニーズに即応して適宜改訂していく。 |
| 1-4 | 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか | 3 | 学校案内並びにホームページに記載しているので広く周知されている。内容の更なる充実を図る。 |
| [評価] 4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切 | | | |

資料

- ・学校案内2019
- ・東海歯科医療専門学校ホームページ <http://www.tokai-med.ac.jp/>
- ・平成31年度 スチューデントマニュアル

基準2 学校運営

| 番号 | 評価項目 | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等 |
|--------------------------------|--|----|---|
| 2-1 | 人事、給与に関する規程等は整備されているか | 4 | 整備されている。就業規則、賃金規程等の諸規定は、学内サーバーの共有フォルダに保存されており、教職員が閲覧可能となっている。 |
| 2-2 | 学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており、学校は事業計画に沿って運営されているか | 3 | 事業計画については、各校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で意思決定されている。10月に事業計画の中間報告を行い、事業計画の進捗状況などについて報告と協議を行っている。 |
| 2-3 | 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか | 4 | 法人全体の重要事項については、理事会・評議員会が組織され、意思決定を行っている。また、毎月経営会議を開催し、学校経営に係る事項や不定期に発生する重要事項について、意思決定がなされている。 |
| 2-4 | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 | 教育活動等の情報公開については、文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学園のホームページにおいて情報公開に取り組んでいる。 |
| [評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切 | | | |

根拠資料

- ・セムイ学園ホームページ <http://www.tokai-med.ac.jp>
- ・H31年度 セムイ学園 事業計画

基準3 教育活動

| 番号 | 評価項目 | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等 |
|------------------------------------|-------------------------------------|----|---|
| 3-1 | 教育理念・教育目標・育成人材像は明確になっているか | 4 | 学校案内、ホームページを通して示している。 |
| 3-2 | 教育目標、育成人材像は、ニーズに合っているか | 4 | 国家試験合格を目標とし、歯科技工業界の状況に応じて対応している。 |
| 3-3 | 教育課程は、適切に編成されているか(体系性) | 4 | 実習体系を、体験型、基礎型、応用型と編成している。 |
| 3-4 | 各科目はカリキュラムの中で適当な位置付けをされているか | 3 | 難易度を考慮し、学説と実習のバランスは取れている。 |
| 3-5 | 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか | 4 | スチューデントマニュアルに明示し学生に伝えている。シラバスを作成し学生に提示できるようにしている。 |
| 3-6 | 進級、卒業の基準は明確になっているか | 4 | スチューデントマニュアルに明示しオリエンテーションで学生に伝えている。 |
| 3-7 | 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか | 4 | 全国歯科技工士教育協議会主催の教員研修会に参加している。 |
| 3-8 | 授業評価はきちんと実施されているか | 4 | 科目ごとに実施している。 |
| 3-9 | 授業評価が授業改善に活かされているか | 3 | 評価に応じて必要がある場合は改善している。 |
| 3-10 | 国家試験等の指導体制は確立されているか | 4 | 十数回の理解度確認問題と模擬試験の成績を開示し、個別指導体制も進んでいる。 |
| [評価] 4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切 | | | |

根拠資料:平成31年度 スチューデントマニュアル

基準4 学修成果

| 番号 | 評価項目 | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等 |
|--------------------------------|-------------------------------------|----|---|
| 4-1 | 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか | 4 | 就職希望者の就職率は100%である。 |
| 4-2 | 中退率の低減が図られているか | 3 | 学生の進路変更もあり、旧年より減少している。 個別面談を実施し問題解決に努めている。 |
| 4-3 | 国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか | 3 | 国家試験合格率が本年度は100%であった。 |
| [評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切 | | | |

基準5 学生支援

| 番号 | 評価項目 | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等 |
|------------------------------------|----------------------------|----|---|
| 5-1 | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | 5月の進路面談、7月の企業セミナーの開催、夏季休暇時の事務所の見学等が確実に行われている。学生カルテを作成し学生の状況を記録している。 |
| 5-2 | 父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合) | 4 | 就学状況に変化がみられる場合は、保護者に手紙、電話連絡して対応している。 |
| 5-3 | 卒業生への支援体制はあるか | 4 | 求人票は常に閲覧できる状態にし、就職相談にも応じている。 |
| 5-4 | 学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか | 4 | 担任が管理し、学科会議を通して教員間で共有し指導している。 |
| [評価] 4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切 | | | |

根拠資料：・学内保管の学生個人票ファイル ・学内保管の就職求人ファイル

基準6 教育環境

| 番号 | 評価項目 | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等 |
|--------------------------------|-------------------------------------|----|--|
| 6-1 | 設備、機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 | CAD/CAMソフトを操作させ、簡易3Dプリンターを設置し、歯科技工のデジタル教育環境が整備されている。 |
| 6-2 | 防災に対する体制は整備されているか | 4 | 避難訓練は例年同様に問題なく行えた。 防災備蓄品は昨年度に引き続き購入をし、備蓄品の充実を図っていく。 |
| [評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切 | | | |

基準7 学生の募集と受け入れ

| 番号 | 点検項目 | 評価 | 点検項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等 |
|--------------------------------|-----------------------------------|----|--|
| 7-1 | 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか | 4 | グループ校を含め過去3年間に入学実績のある高等学校を中心に288校を指定校とし、指定校推薦入試の案内を行うとともに在校生の状況、卒業生の進路等の報告を行った。 また、資料請求などのあった入学実績のない高等学校へも随時訪問し情報提供を行っている。 |
| 7-2 | 学生募集活動は、適正に行われているか | 4 | 時代のニーズに沿った多様な入学試験を実施している。 ① A0入試は書類審査（エントリーシート）と個人面接により判定を行っている。 ② 学校推薦入試、指定校推薦入試、社会人入試、一般入試においては小論文の採点基準を設け明確化し、判定している。また、一般入試の学力試験は科目の選択が可能になっている。 ③ 留学生には留学生特別入試で対応している。 入学試験の合否決済については、学科長より校長へ決裁書の申請を行っている。 |
| 7-3 | 学生募集において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか | 4 | 国家試験合格率、就職（内定）率などの情報はホームページやパンフレット等で情報提供を行っている。 |
| 7-4 | 学生納付金は妥当なものとなっているか | 3 | 近郊の競合校と比較してやや高くなっている。 |
| [評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切 | | | |

上記点検項目の根拠となるもの

- ・令和元年度情報提供実施高等学校一覧
- ・学校案内、入学生募集要項、ホームページ

基準8 財務

点検項目及び現状認識・評価等

| 番号 | 評価項目 | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等 |
|------------------------------------|-----------------------|----|--|
| 8-1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか | 3 | 中長期を狙い財務安定基盤の確立の為、借入負債の軽減を図っている。新規の借入はおこなっていない。単年度の黒字化を維持している。 |
| 8-2 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものか | 4 | 予算に対する執行状況については半期ごとにチェックし大きく乖離する項目については協議の上、補正予算を行なっている。 |
| 8-3 | 財務について会計監査が適正に行われているか | 4 | 公認会計士の往査をほぼ毎月、年間延べ日数20日間を受け財務状況のチェックを受けている。期末には監事、会計監査を受けている。 |
| [評価] 4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切 | | | |

根拠資料

- ・令和1年度 事業活動収支計算書

基準9 法令等の遵守

| 番号 | 評価項目 | 評価 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等 |
|--------------------------------|-------------------------------|----|---|
| 9-1 | 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 | 養成施設自己点検表に基づき点検し、改善をしている。内部監査は本校職員の監査員4名と行政書士1名（学外者）で、6月と11月に教学に関する事項を重点的に行った。監査結果は理事会で報告し、学校全体で問題点の共有、対応策を協議共有し、コンプライアンスの徹底を図っている。 |
| 9-2 | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 | 建学の理念・目的、教育および管理・運営内容の全般について、自己点検・評価を実施し、改善を図っている。 |
| 9-3 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 3 | 情報機器について学内で使用する個人PCについては届出制度の徹底、USBについては外部からの持ち込み制限をかけている。個人情報に対する教育の徹底をはかっている。 |
| [評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切 | | | |

根拠資料

・令和元年度 事業報告書

基準10 社会貢献・地域貢献

点検項目及び現状認識・評価等

| 番号 | 評価項目 | 達成度合 | 評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等 |
|--------------------------------|----------------------------|------|---|
| 10-1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか | 3 | 高等学校が行うオープン講座に参加している。 NPO法人子育て支援組織に出張講義を行っている。 |
| 10-2 | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 3 | 授業日程にあまり余裕がないが、長期休暇を使用した支援をしていきたい。 |
| [評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切 | | | |